

1. はじめに

サラリーマンの顔とも言われる名刺は、多くのビジネスマンにとって大切な財産です。紙でできた名刺は日本のビジネス界に根付いた文化であり、名刺の電子情報化が進んでも、紙の名刺が廃れることはないでしょう。現在、OCR に対応した多くの名刺管理ソフトが発売されていますが、それらのソフトは誤り訂正のための入力作業に大変な手間がかかります。受け取った大量の名刺を管理し、最大限に活用することは容易ではありません。どうすれば紙の名刺を効率よく管理できるか？それに対する回答として、私たちは名刺情報を管理するサーバと、サーバにアクセスするために QR コードを利用する『A Mazing 一次世代型名刺管理システム』を開発しました。

2. システム概要

本システムは名刺情報を管理するサーバ、名刺を作成する名刺作成クライアント、名刺を閲覧・管理する名刺閲覧クライアントから構成されます。その他、携帯・WWWブラウザからも利用できます

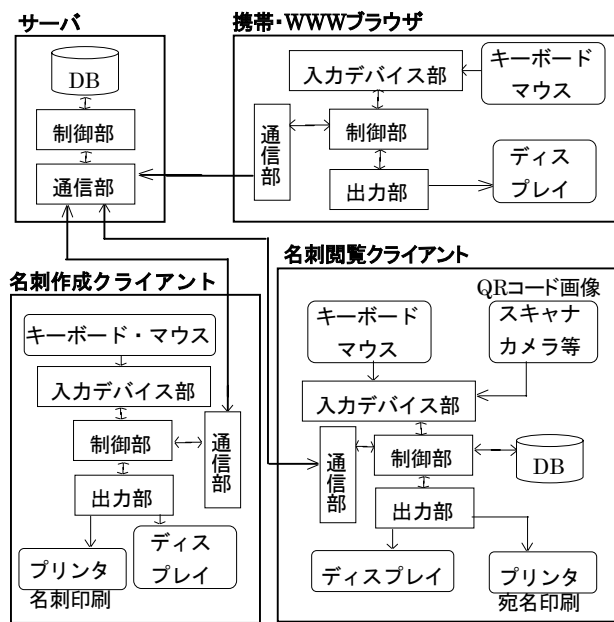


図1: システム構成図

3. 機能説明

3-1. 名刺の作成

名刺の作成は名刺作成用のプログラムを利用して行います。作成された名刺情報は、サーバ上のDBに登録されます。本システムでは名刺の偽造を回避するために、デジタルIDを用いています。またA Mazing 対応名刺のQRコードには名刺管理サーバへのアクセスキーのみが含まれており、ユーザはサーバにアクセスすることで名刺情報を得ることができます。サーバ上の名刺情報は随時更新することができるため、名刺を受け取った人は常に最新の情報を得ることができます。また名刺を渡したユーザに更新情報を送ることも可能です。

3-2. 名刺データの閲覧

A Mazing 対応名刺をコンピュータから閲覧するにはQRコード画像を解析する必要があります。TWIN 対応のスキャナ・カメラが利用できるPC、QRコードリーダ対応携帯が利用可能です。また、一度名刺情報にアクセスした場合、その名刺は個人情報DBに登録され、管理されます。

3-3. 名刺データの管理

個人情報DBに登録されている名刺については、A Mazing サイト上にてグループの分類、メモ・受け取った日付などの名刺に対する付加情報の編集を行うことができます。編集を行いたい名刺を簡単に発見するために、検索、ソート機能、グループ別表示、一覧表示等の機能を実装しています。

また従来の名刺については専用ブラウザ・wwwブラウザ等から登録することができます。

3-4. 名刺データの活用

専用ブラウザでは、サーバ上の個人情報DBに登録してある名刺情報をダウンロードし、ローカルDBとして管理することが可能です。そして、ローカルDBに登録してある名刺情報は年賀状などの宛名印刷や、携帯電話や電子手帳への名刺情報のエクスポートに利用できます。携帯電話には、専用アプリから名刺情報をダウンロードし、登録することができます。また、専用アプリ非対応の携帯電話にも、A Mazing サイト上に表示されたアドレス登録用QRコードを用いて名刺情報の登録が可能です。



図2: 名刺一覧画面

4. おわりに

『A Mazing 一次世代型名刺管理システム』では、いつでも、どこでも、どんな端末からでも使える名刺の管理環境を提供します。本システムを使うことで名刺はより良いヒューマンネットワークを築くためのツールとして利用されつづけることでしょう。

5. 参考文献

XOOPS 入門 著: 坂井恵・天野龍司

i モード Java プログラミング 著: アスキー書籍編集部

MySQL&PHP 著: 田中ナルミ